

生きる (1952)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 143分
初公開日 1952/10/09
映倫 G

【解説】

癌で余命幾ばくもないと知った初老の男性が、これまでの無意味な人生を悔い、最後に市民のための小公園を建設しようと奔走する姿を描いた黒澤明監督によるヒューマンドラマの傑作。市役所の市民課長・渡辺勘治は30年間無欠勤のまじめな男。ある日、渡辺は自分が胃癌であることを知る。命が残り少ないと悟ったとき、渡辺はこれまでの事なかれ主義的生き方に疑問を抱く。そして、初めて真剣に申請書類に目を通す。そこで彼の目に留まったのが市民から出されていた下水溜まりの埋め立てと小公園建設に関する陳情書だった……。責任を回避し、事なかれを良しとする官僚主義への批判や人生の価値に対する哲学がストレートに表現されてはいるが、志村喬の鬼気迫る迫真の演技が作品にみごとな説得力を与えている。

【クレジット】

監督	黒澤明	Akira Kurosawa
製作	本木荘二郎	
脚本	黒澤明	Akira Kurosawa
	橋本忍	Shinobu Hashimoto
	小国英雄	Hideo Oguni
撮影	中井朝一	
美術	松山崇	
編集	岩下広一	
音楽	早坂文雄	
演奏	キューバン・ボーイズ	
	P. C. L. スイングバンド	
	P. C. L. オーケストラ	
監督助手	丸林久信	
	堀川弘通	
	広沢栄	
	田実泰良	
照明	森茂	
記録	野上照代	
出演	志村喬	渡辺勘治
	日守新一	市民課課長・木村
	田中春男	市民課課長・坂井
	千秋実	市民課課長・野口
	小田切みき	小田切とよ

左卜全
山田巳之助
藤原釜足
小堀誠
金子信雄
中村伸郎
渡辺篤
木村功
清水将夫
伊藤雄之助
浦辺糸子
三好栄子
本間文子
菅井きん
市村俊幸
倉本春枝
ラサ・サヤ
南美江
関京子
阿部九州男
永井智雄
村上冬樹
青野平義
宮口精二
加東大介
林幹
堺左千夫
小川虎之助
千葉一郎
谷晃
長浜藤夫
小島洋々
登山晴子
安雙三枝

市民課課長・小原
市民課主任・斎藤
市民課係長・大野
勘治の兄・渡辺喜一
勘治の息子・光男
助役
病院の患者
医師の助手
病院の医師
小説家
喜一の妻・たつ
陳情のおかみA
陳情のおかみB
陳情のおかみC
ピアニスト
ダンサー
ダンサー
家政婦・林
光男の妻・一枝
市会議員
新聞記者A
新聞記者B
新聞記者C
ヤクザの親分
ヤクザの子分
ヤクザの子分
ヤクザの子分
公園課長
警官
飲み屋の親爺
市職員
市職員
焼香の客
焼香の客